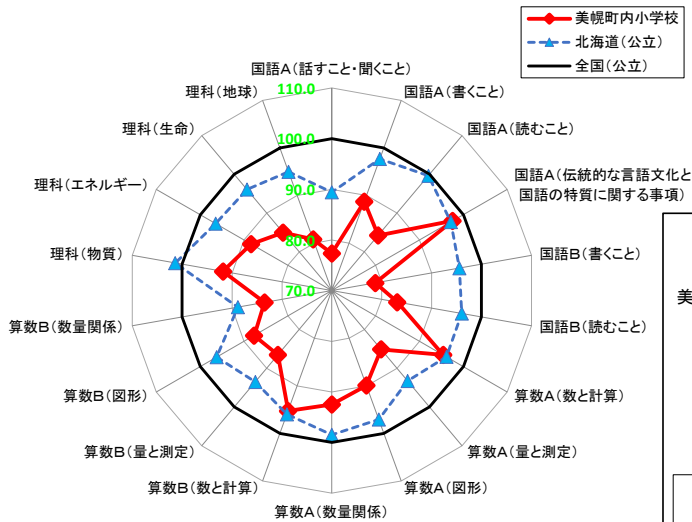


美幌町内小学校の状況及び学力向上策 (学校数:3、児童数:156名)

【教科全体の状況】

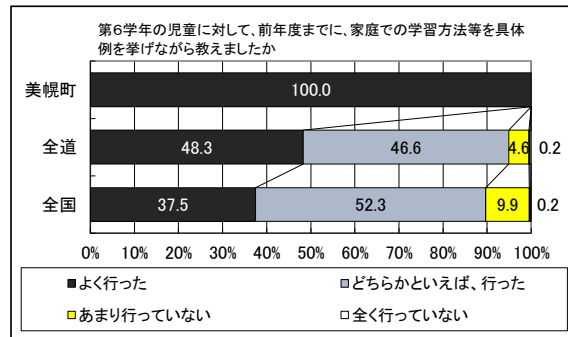
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



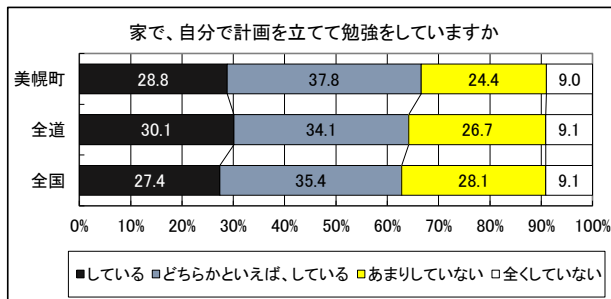
美幌町内小学校の平均正答率

教科名	平均正答率(%)
国語A	65.7
国語B	55.4
算数A	69.1
算数B	39.5
理科	53.1

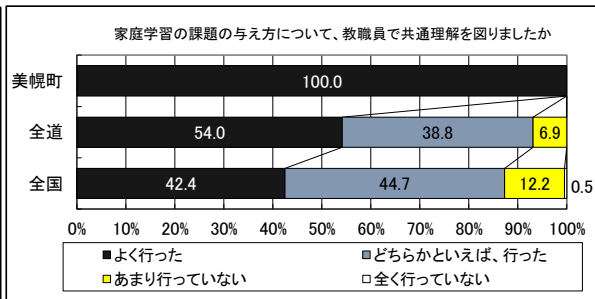
【学校質問紙調査】



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全道を上回っている。特に「漢字の読み書き」の理解度が高い。 ○ 算数A及びBでは「数と計算」で全道とほぼ同様になっている。特に、「繰り上がりのある2位数の加法」及び「異分母の分数の減法」の理解度が高い。 ○ 理科の「物質」の平均正答率が他の領域と比較すると高い傾向にある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学校が家庭学習の課題の与え方について教職員で共通理解を図り、家庭での学習方法を具体例を挙げて教えることにより、児童に家庭において自分で計画を立てて学習する習慣が定着してきている。こうした家庭学習の習慣化が漢字の読み書きや計算などの基礎的・基本的な知識・技能の定着につながっていると考えられる。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか」という質問に、「している」「どちらかといえば、している」と回答した児童の割合が全国及び全道を上回っている。 	
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「第6学年の児童に対し、前年度までに、家庭での学習方法を具体例を挙げて教えましたか」「家庭学習の与え方について、教職員で共通理解を図りましたか」という質問に、全ての学校が「よく行った」と回答している。 	

【美幌町の学力向上策】

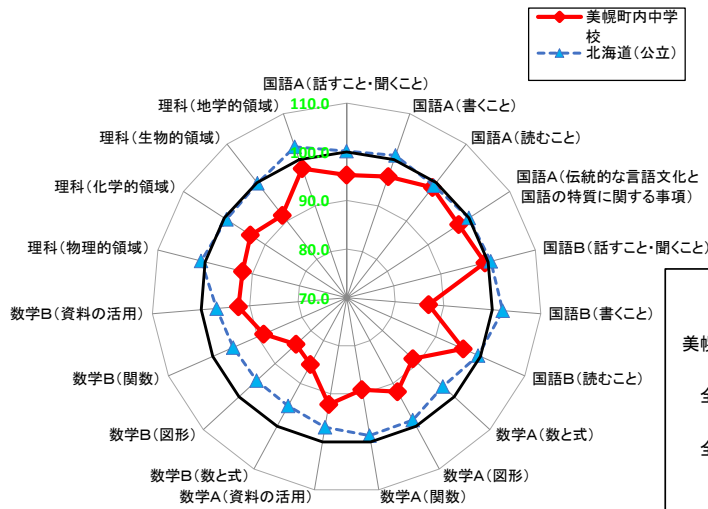
- ◎ ティームティーチングや習熟度別指導、小学校の全学年における少人数学級(35人以下)によるきめ細かな指導の充実
- ◎ 実物投影機などのICT機器の活用などの多様な指導方法を取り入れた授業改善
- ◎ 大学生ボランティアを活用した学習サポートを全小中学校で年間10日間実施
- ◎ 退職教員等を活用した放課後における補充的な学習サポートの実施
- ◎ 親子算数・国語教室の実施や「生活リズムチェックシート」「家庭学習の手引」の活用による、家庭と連携した学習習慣の確立

■美幌町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:2、生徒数:164名)

【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

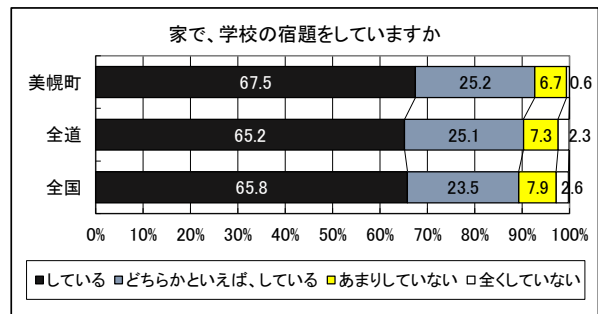
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



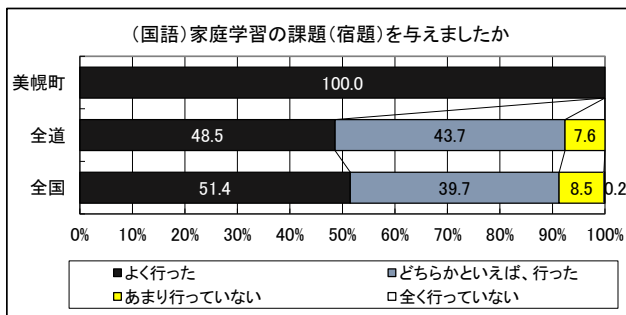
美幌町内中学校の平均正答率

教科名	平均正答率(%)
国語A	73.8
国語B	64.0
数学A	58.1
数学B	36.1
理科	49.7

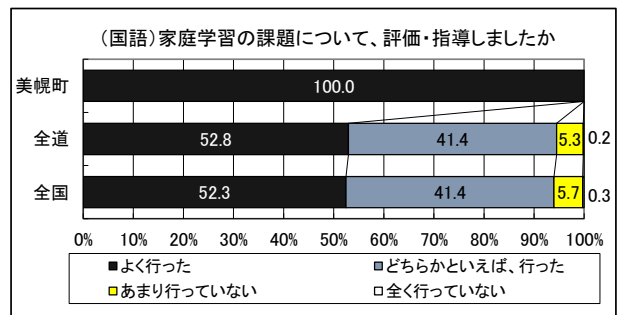
【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは「読むこと」で全道とほぼ同様であり、国語Bでは「話すこと・聞くこと」で全国及び全道とほぼ同様になっている。特に、効果的な資料を作成し、活用して話す問題の理解度が高い。 ○ 数学A、Bともに「資料の活用」の平均正答率が他の領域と比較すると高い傾向にある。特に、与えられた資料から中央値を求める問題の理解度が高い。 ○ 理科「地学的領域」の平均正答率が他の領域と比較すると高い傾向にある。特に、天気記号から風力を読み取る問題の正答率が全国を大きく上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学校が家庭学習の課題を与え、評価・指導を行う取組を徹底したことにより、生徒に家で学校の宿題をする習慣が定着してきている。こうした家庭学習の習慣化が基礎的・基本的な知識・技能の定着につながっていると考えられる。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「家で、学校の宿題をしていますか」という質問に、「している」「どちらかといえば、している」と回答した生徒の割合が全国及び全道を上回っている。 	
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全ての学校が、国語において家庭学習の課題を与え、評価・指導を「よく行った」と回答している。 	

【美幌町の学力向上策】

- ◎ ティームティーチングや習熟度別指導によるきめ細かな指導の充実
- ◎ 実物投影機などのICT機器の活用などの多様な指導方法を取り入れた授業改善
- ◎ 大学生ボランティアを活用した学習サポートを全小中学校で年間10日間実施
- ◎ 「生活リズムチェックシート」「家庭学習の手引」の活用による、家庭と連携した学習習慣の確立